



## 「はたらく」を支える！ 職場×発達障害

編者：五十嵐良雄 発行：株式会社 南山堂 定価：(2,500円+税)

リワークデイケアの先駆者であり、都心の虎ノ門でうつ病当事者の復職支援を展開している著者が、一転して発達障害者の就労・復職支援を手がけた成果をまとめた。その経緯は本書を手にとれば明らかになるが、今日、産業保健で精神障害を担う方々は等しく同じような認識を共有していると思う。いわば必然の流れであり、本書は時代の要請に応じて登場した書といえよう。

豊富な臨床経験をもとに、発達障害では無かった例、復職できなかった失敗例も含め、多くの事例紹介を通じて、発達障害者への対応のコツを本書は伝授

してくれる。診断は確実に、しかし発達障害の特性の濃淡にかかわらず、現場は相談者のニーズに応じてなんぼの世界なのである。

評者は、10年来の大人の発達障害外来の経験から実に多くの学びを得ることができた。きっと著者の五十嵐氏も、復職支援の臨床でそれまでの相談者とは手応えの違う人たちに直面し、さまざまな試行錯誤を経て、本書ににじみ出る境地に到達したことと推察する。

本書から読者はその果実を一挙に得ることができると思い、ここに強く推薦する次第である。

加藤進昌

(昭和大学発達障害医療研究所 所長・公益財団法人神経研究所附属 晴和病院)



## 基礎からはじめる 職場のメンタルヘルス —事例で学ぶ考え方と実践ポイント—

著者：川上憲人 発行：株式会社 大修館書店 定価：(1,800円+税)

本書は、企業の管理監督者や人事労務担当者を対象に、職場のメンタルヘルス対策の基本的な知識と技術について説明することを目的としている。ストレスチェック制度の施行に伴い、これまで取組みのなかった中小企業などでもメンタルヘルス対策に着手する動きがみられるが、本書はそのような企業の担当者に一読しておくことを薦めたい一冊である。

本書では、メンタルヘルス不調への気づきや職場復帰の支援、ストレスチェック制度などとどまらず、著者が力を注いでいるポジティブメンタルヘルスの取組みを含む幅広いメンタルヘルス対策が紹介されてい

る。また、多数の判例や事例を盛り込むことでこの分野に不慣れな読者を飽きさせないように工夫されており、さらに「管理監督者の部下への相談対応フローチャート」や「職場復帰後のフォローアップ時期別チェックポイント」などの実践的なツールを含むことで企業関係者の的確な対策実施を支援している。

このように豊富な内容を含む本書は、非専門職のみならず、一定の経験を積んだ産業保健専門職に対しても、メンタルヘルス対策全体を振り返り、今後の対策を見直す機会を与えてくれるだろう。

森口次郎

(一般財団法人京都工場保健会 理事)